

Cosmo-Eggs

宇宙の卵

2020年6月23日^[火]ー10月25日^[日]

第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館展示帰国展「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」 作品・資料リスト

* ◯は作品を、「」は資料を示す。
* 都合により、展示の内容および順番が異なる場合があります。

日本館展示室再現

ー下道基行+安野太郎+石倉敏明+能作文徳
《“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”日本館展示室再現》
MDFボード、シナ合板、合板、Pタイル、段ボールほか
W13,785 x D17,217 x H4,200 mm
設計: 能作文徳
グラフィックデザイン: 田中義久
施工/テクニカル・ディレクション: HIGURE 17-15 cas
2020年

*《“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”日本館展示室再現》
構成作品リストは別紙掲載

書割裏

ー「ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示一覧」

壁面01

ー下道基行
《津波石#01》2分35秒10、ビデオ(ループ)、2016年
《津波石#02》2分08秒08、ビデオ(ループ)、2015年
《津波石#03》1分59秒14、ビデオ(ループ)、2017年
《津波石#04》9分00秒00、ビデオ(ループ)、2016年
《津波石#05》7分14秒21、ビデオ(ループ)、2016年
《津波石#06》1分42秒05、ビデオ(ループ)、2018年
《津波石#07》5分50秒23、ビデオ(ループ)、2018年
《津波石#08》1分36秒23、ビデオ(ループ)、2018年
《津波石#09》7分54秒20、ビデオ(ループ)、2018年
《津波石#10》7分35秒20、ビデオ(ループ)、2018年
《津波石#11》2分26秒08、ビデオ(ループ)、2018年
《津波石#12》12分11秒21、ビデオ(ループ)、2019年
上記より9点を展示

ガラスケース

ー下道基行「津波石調査ファイル」A4ファイル、2015ー2019年
ー安野太郎「宮古島フィールドレコーディング音源
(リュウキュウアカショウビン、アジサシの鳴き声など)」音声ファイル、2018年
ー石倉敏明「フィールドノート“COSMO-EGGS 2018ー2020 No.1”
B5サイズノート、2018ー2019年
ー能作文徳「スタディ模型(バルーン、スクリーン)」模型
(スタイロフォーム、紙、木材など)、2018ー2019年
ー「創作神話の文字彫り実験ボード」W450 x H300 mm、
MDFボード、2019年
ー「フロッタージュ実験」A4コピー用紙、2019年
ー田中義久「“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”公式カタログ 東見本」
W235 x H295 x D20 mm、東見本、2019年

壁面02

ー「“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”制作プロセス・タイムライン」
紙にピン留、2020年

壁面03

ー田中義久「“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”ポスター」
W698 x H1,030 mm、紙、2019年
ー能作文徳「“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”日本館展示模型」
1/50模型、2018ー2019年

壁面04

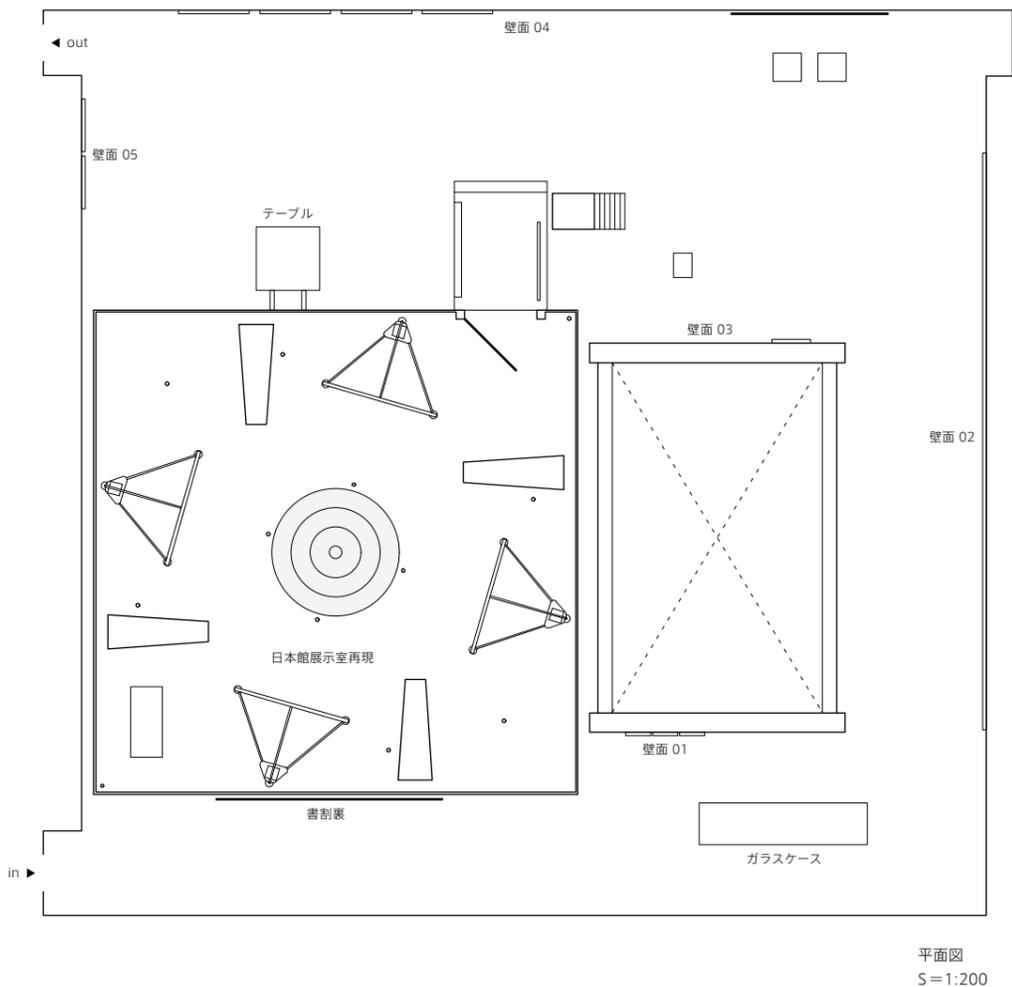
ー安野太郎《COMPOSITION FOR COSMO-EGGS
“Singing Bird Generator”スコア》
W257 x H357 mm、スコア、2020年
ー安野太郎《COMPOSITION FOR COSMO-EGGS
“Singing Bird Generator”
さえずり伝達の規則に基づいた、演奏の順序》
W4,650 x H2,400 mm、紙、2020年
ー下道基行+安野太郎+石倉敏明+能作文徳+服部浩之
《創作神話“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”フロッタージュ》
W1,960 x H970 mm(4点組)
和紙、グラフィイト
文字組デザイン: 田中義久
制作協力: 一本木プロダクション、日本館スタッフ
2019年

壁面05

ー「“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”制作過程記録映像」
ー「“Cosmo-Eggs | 宇宙の卵”展覧会記録映像」
撮影・編集: アーカイ美味んぐ
2019ー2020年

テーブル

ーカタログ「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」W235 x H295 x D20 mm、
LIXIL出版(日本語版)/Case Publishing(英語版)、2019年
ーカタログ「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵——コレクティブ以後の
アート」W182 x H258 x D22 mm、torch press、2020年



平面図
S=1:200

